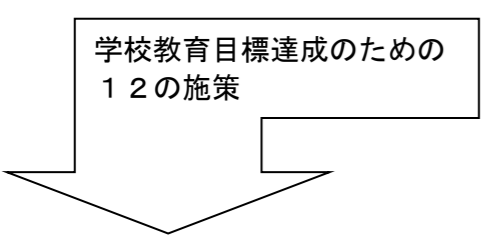
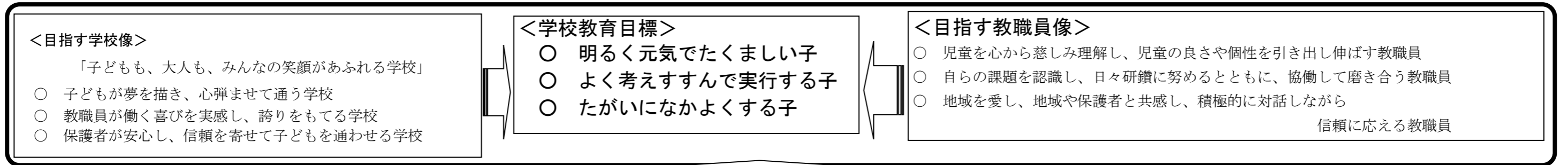


令和6年度 学校経営の基本方針（図説版）

小平市立小平第十二小学校 校長 岩井 純一郎



<学校経営の理念> 学校経営の目標は、教育目標の達成である。その目標達成に向けて、学校の努力とともに、保護者・地域から信頼され、連携して教育活動を行っていく必要がある。そして、児童が自らすすんで友達と共に学習に取り組み、様々な場面で満足感・達成感を味わえる教育活動を目指していきたい。そのためには「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をしていく必要がある。教師は常に教材研究に励み、きめ細やかな支援を行う必要がある。「教育は人なり」と言われるように、まずは、教員一人一人の不断の努力と研修が大切である。また、全教職員の組織的な協力も必要である。学年・学校としてのチーム力で組織的に問題に対応していくことで学校が安定してくる。教師間の「和」と「絆」を大切にし、協力的な人間関係の中で仕事に対しては厳しくあり、組織の一員として十分職責を果たせるような組織をつくり、児童への指導にあたる

1 魅力ある授業の創造（学力向上1）

- ①分かるまで教える
- ②「読書マラソン」等、読書活動の充実
- ③「朝学タイム」「十二小タイム」の確実な実施
- ④ボランティアの活用
- ⑤学年での教材研究等による授業の改善と高学年教科担任制の実施

2 魅力ある授業の創造（学力向上2）

- ①系統性を考え、低学年からペア学習やグループ学習の時間を確保
- ②単元を通した課題解決的学習に取り組む
- ③「選択する」をキーワードにした学習過程の工夫
- ④ゲストティーチャーやボランティア等、地域の教育力を生かした指導と交流を通した対話的で深い学び

3 健康・安全教育の充実（体力向上）

- ①体育授業と体育的活動のさらなる充実
- ②課題解決的学習による主体的・対話的な学び
- ③外遊びの励行と朝活タイムの実施
- ④CSと連携した体力テスト等、活動の充実
- ⑤系統的な健康教育の実施
- ⑥健康・安全教育、食育に専門的な知識を導入
- ⑦水泳の安全指導・管理の徹底安全な水泳指導の推進

4 人権意識・規範意識を高める指導（健全育成）

- ①道徳授業の計画的な実施
- ②十二小学級会スタイルを展開
- ③人権意識を高める指導・環境づくり
- ④いじめ未然防止・早期対応へ向けた組織的な対応
- ⑤計画的な国際理解教育の推進
- ⑥カウンセリングマインドをもった対応と組織的な生活指導を推進
- ⑦あいさつ運動の推進
- ⑧整理整頓の指導の徹底と校内美化

5 情報教育の推進（1～4の施策を推進する基盤）

- ①教師用ICT機器や児童用端末の効果的な活用、宿題の工夫
- ②個別の課題に対応した学習用ソフトの活用
- ③朝学PCの確実な実施
- ③情報モラル教育を進め、情報選択・活用能力を育成
- ④プログラミング教育の実践

6 特別支援教育の充実（1～4の施策を推進する基盤）

- ①特別支援学級との交流
- ②特別支援教育の視点での環境整備と教育活動の見直し
- ③特別支援教室担当と連携した指導とミニ研修の実施
- ④校内委員会の充実と関係諸機関や家庭との連携
- ⑤不登校等の児童への対応・支援のための研修の実施

7 キャリア教育の推進（上記1～4の施策を推進する基盤）

- ①「6年生は十二小の顔」という意識を高める
- ②上学年が手本となるような異学年交流の推進
- ③勤労・奉仕活動の充実
- ④近隣中・高と連携した教育活動の推進

8 研究・研修の活性化（上記の1～7の主要施策を推進する基盤）

- ①研究推進部を中心に実践的な研究の実施
- ②国語科の「書く」領域を中心に児童の表現力を伸ばす研究
- ③職員間の授業参観と他地区の研究発表会への参加な実施
- ④研修報告会の実施
- ⑤校内OJTの計画的実施
- ⑥諸研修を通じた実践力・組織力の向上

9 安全点検と環境整備の充実

- ①いつもきれいな学校を目指す
- ②安全点検の確実な実施と環境整備
- ③ボランティアと連携した美化活動
- ④避難所運営委員会と連携した防災訓練の実施

10 学級経営・学年経営の充実

- ①毎週学年会を実施し、情報交換
- ②課題は学年で対応。全職員で情報を共有
- ③学習補助員・講師・特支専門員・SC等との情報共有
- ④運営委員会の内容を伝達会で学年に周知・徹底

11 教職員の働き方改革の推進

- ①効率的な仕事や教科担任制で教材研究の時間の確保
- ②学習支援ボランティアやスクールサポートスタッフ等の活用
- ③精選した年間行事予を継続し、ゆとりのある教育活動を展開
- ④時差勤務等を推奨し、教員一人一人に合った働き方を推進

12 コミュニティ・スクールの推進（上記全て施策を推進する基盤）

- ①様々な課題にプロジェクトチームで対応
- ②家庭・地域と連携した教育活動を展開
- ③五中学区の小・中連携教育を推進
- ④関係幼保や小平西高との連携
- ⑤ホームページを活用し、開かれた学校を目指す
- ⑥CS委員及び地域関係者による「熟議」の開催